

奨学金継続願

(様式 継3)

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

平成 年 月 日

下記のとおり奨学金の継続貸与をお願いします。

学校名		大 学	研究科	年
奨 学 生 番 号		フリガナ	印	
		氏 名	(学籍番号:)	
本 人 記 入 状 況	返 還 の 義 務	奨学金制度は、意欲と能力のある皆さんが経済的に自立し、自らの意思と責任により学生生活を送れるよう支援するものです。 また、貸与された奨学金は返還する義務があります。先輩奨学生の返還金が、直ちに後輩奨学生の奨学金として循環運用される仕組みとなっており、返還金が確実に返還されないと、次代の奨学生の採用に重大な支障をきたすことになります。 奨学生ひとりひとりがこのような制度の仕組みを理解し、責任を持って返還をすることが重要です。 あなたは ア. 返還の義務を自覚している イ. 返還の義務を自覚していない		
	場 学 合 業 の 不 処 振 置 の	修了の延期が確定した（又は修了の延期の可能性が極めて高い）場合は、奨学金の交付について「廃止」（又は「停止」）の処置がとられます。 あなたは ア. 学業不振の場合の処置について理解している イ. 学業不振の場合の処置について理解していない		
	経 済 状 況	1. 学生生活費の状況など、経済状況は奨学金申込時または前回の継続願提出時と比較して変わりましたか。 ア. 好転した イ. ほぼ変わらない ウ. 苦しくなった 2. あなたは現在家族と同居していますか。 ア. はい (様式 継3であることを確認してください。) イ. いいえ (様式 継4であることを確認してください。) 3. あなたの前年度12月から今年度11月の収入に関する金額を記入してください。 (今年度4月入学者は、今年度4月から11月の収入に関する金額を記入してください。) (1) アルバイト等収入 [] 万円 (2) 配偶者の定職収入 [] 万円 (3) 日本学生支援機構の奨学金 [] 万円 *貸与額通知書「5. 振込明細」の振込額の合計を記入してください。 (4) 日本学生支援機構以外の奨学金 [] 万円 (5) 父母等からの給付（父母等の支払った授業料を含む。） [] 万円 (6) その他（貯蓄等を取崩した額や臨時収入等） [] 万円 収入合計(1+2+3+4+5+6) (A) [] 万円		

※ 表裏の太線内の記入項目（記入日・学校・研究科・学年・奨学生番号・氏名・学籍番号・本人記入欄）について、必ず全て記入したうえで捺印してください。また、学校認定欄には記入しないでください。(201511)

人 記 入	本 経 済 状 況	4. あなたの前年度12月から今年度11月の支出に関する金額を記入してください。 (今年度4月入学者は、今年度4月から11月の支出に関する金額を記入してください。)
		(1) 学費 (授業料・施設費などの学校納付金等を含む。) [] 万円
		(2) 修学費 [] 万円 (教科書、図書費、文具購入費、課外活動費、通学費等を含む。)
		(3) 食費 (外食費用) [] 万円
		(4) 通信費 (携帯電話等の通信費を含む。) [] 万円
		(5) その他 (医療費、娯楽・嗜好費等) [] 万円
	(6) 機関保証制度の保証料 [] 万円	
	支出合計(1+2+3+4+5+6) (B) [] 万円	
	収入合計(A) - 支出合計(B) [] 万円	
	あなたの経済状況を具体的に説明してください。	
学 修 の 状 況	学生生活の状況	この1年間の学生生活の状況などを記入してください。 例 課外における活動の参加 ボランティア等の社会参加
	学修の状況	この1年間の授業出席状況について、あてはまるものを選択してください。 ア. 全部もしくははだいたい出席した イ. ア以外 イを選択した人は、その理由を具体的に説明してください。 〔理由〕
	学修の状況	この1年間の学修に対する取組みの姿勢について、あてはまるものを選択してください。 ア. 熱心に取組んだ イ. 取組みが不十分だった イを選択した人は、その理由を具体的に説明してください。 〔理由〕
	入	奨学事業実施上の参考とするため、次のアンケートにお答えください。 なお、このアンケートは、奨学金継続願の内容に影響を及ぼすものではありません。 設問1：奨学金が受けられなかった場合についてお答えください。 ア <input type="checkbox"/> (1) 修学が困難 (不可能) となった。 イ <input type="checkbox"/> (2) 修学は可能であったが、自分が学びたい分野や学校での修学は困難となった。 エ <input type="checkbox"/> (3) 修学は可能であったが、アルバイト等が不可欠で、勉学に支障が出た。 設問2：奨学金の貸与を受けたことによって、勉学に励む時間が変化したかどうかお答えください。 ア <input type="checkbox"/> (1) 増加した <input type="checkbox"/> (2) やや増加した <input type="checkbox"/> (3) あまり変わらなかった イ <input type="checkbox"/> (1) 適切である <input type="checkbox"/> (2) 少ない <input type="checkbox"/> (3) 多い 設問4：設問3で(2)、(3)を選択した方は、3万円～22万円の中から、あなたが適切だと思う貸与月額を記入(万単位)してください。なお、本設問に回答された月額の貸与が受けられるわけではありません。 [] 万円

注① この継続願を所定の期限までに提出しない場合は、奨学生の資格を失います。

② 奨学金の継続を希望しない場合は、直ちに「異動願 (辞退)」を提出してください。

その後平成21年度以前採用者は、「返還誓約書」を提出していただきます。

③ カタカナの記号は、該当するものを○で囲んでください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務 (返還業務を含む) のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報 (奨学金の返還状況に関する情報を含む) が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止のために照会があった場合は、適切な範囲内においてあなたの情報が提供されます。